

ふるさと通信 Vol.67

2016年8月

7月下旬、稲の穂が顔を出しました！極早稲から順々に育ってきますが、今年は暖かったせいかわず少し早めですね。今はちょうどコシヒカリが穂を出し始めているところです。7月は稲の生育を確認しながらの穂肥まきが主作業ですが、今年は田んぼが雨で乾かず、背負い式の動力散布機に20kgの肥料を入れ、広い田んぼを埋まりながらの作業だったので、ホントきつかったあ〜。その分、元気な穂が出てきたのを見つけたときは、なんだかいつもより嬉しかったですね。さて、美味しいお米作りの為に残された作業は水管理。7月26日から27日にかけて、高田の24時間降雨量記録を塗り替える豪雨があっけまいました、おかげでなんとか水も足りそうです。稲が暑さで体力を消耗しないよう、適切な水管理をして、良い実りの秋を迎えたいと思います。



穂肥まき。有機肥料は成分が低くまく量が増えるので大変。その分、おいしくな〜れ！



チョウトンボにショウジョウトンボ、ハラビロトンボに数々の糸トンボやヤンマ類。今年もたくさんのトンボが姿を見せてくれました。



梅の土用干し。夏の太陽が梅干しにうまみを凝縮！すっぱい香りが漂い、なんだかごはんが食べたくなります。(ノ^)



来年のお米作りの為の作業も始まります。米糠や粃殻を主な原料とした、こだわりの自家製堆肥を切り返し。

8月のオマケは、ご好評いただいている、ばあばの漬床（糶床）です。きゅうりやカブ等の野菜に塗り、ビニール袋や密閉容器に入れて一晩おくだけで、本格的な浅漬けが出来ますので、是非お試し下さい。それでは、今後とも宜しく願いいたします。

日々の農作業の様子や地域の情報は、下記フェイスブックページ“有機栽培米の金谷農場”で発信中です！

<https://www.facebook.com/kanayafarm.jp>

ホームページ：<http://www.kanaya-farm.jp/>
Eメール：info@kanaya-farm.jp

2016年8月1日
金谷 武志